

みずほCustomer Desk Report 2019/06/03 号(As of 2019/05/31)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.37
TKY 9:00AM	109.34	1.1130	121.66	GBP/USD	1.2606
SYD-NY High	109.63	1.1179	122.01	AUD/USD	0.6944
SYD-NY Low	108.28	1.1126	120.93		1.2560
NY 5:00 PM	108.28	1.1168	121.00		0.6901
					0.6937
NY DOW	24,815.04	▲ 354.84	日本2年債	-0.1800	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,453.15	▲ 114.57	日本10年債	-0.1000	▲ 2.00bp
S&P	2,752.06	▲ 36.80	米国2年債	1.9231	▲ 14.28bp
日経平均	20,601.19	▲ 341.34	米国5年債	1.9151	▲ 10.89bp
TOPIX	1,512.28	▲ 19.70	米国10年債	2.1324	▲ 8.35bp
シカゴ日経先物	20,425	▲ 530	独10年債	-0.2040	▲ 2.80bp
ロンドンFT	7,161.71	▲ 56.45	英10年債	0.8860	▲ 1.05bp
DAX	11,726.84	▲ 175.24	豪10年債	1.4735	▲ 5.95bp
ハンセン指数	26,901.09	▲ 213.79	USDJPY 1M Vol	6.92	0.72%
上海総合	2,898.70	▲ 7.11	USDJPY 3M Vol	6.80	0.38%
NY金	1,311.10	18.70	USDJPY 6M Vol	7.03	0.36%
WTI	53.50	▲ 3.09	USDJPY 1M 25RR	-1.85	Yen Call Over
CRB指数	175.36	▲ 3.40	EURJPY 3M Vol	7.16	0.31%
ドルインデックス	97.75	▲ 0.39	EURJPY 6M Vol	7.51	0.33%

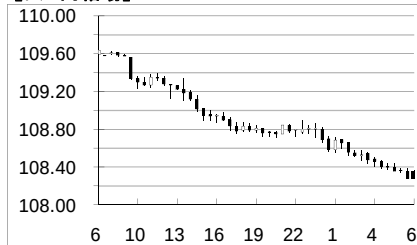
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月31日	08:01	英 Grk消費者信頼感	5月 -10	-12
	10:00	中 製造業PMI	5月 49.4	49.9
	10:00	中 非製造業PMI	5月 54.3	54.3
	15:00	独 小売売上高(前月比)	4月 -2.0%	0.1%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 0.2%/1.4%	0.3%/1.6%
	21:30	米 個人所得	4月 0.5%	0.3%
	21:30	米 個人支出	4月 0.3%	0.2%
	21:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	4月 0.3%/1.5%	0.3%/1.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	5月 100	101.5

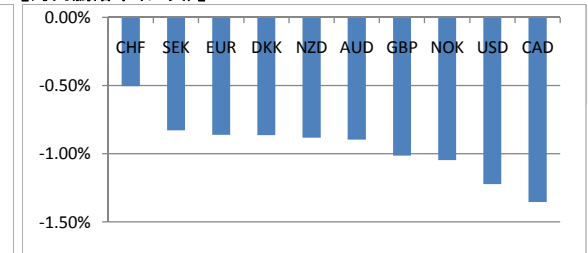
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月3日	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	5月 44.3	44.3
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	5月 50.6	50.6
	23:00	米 ISM製造業景況指数	5月 53	52.8
	23:00	米 建設支出(前月比)	4月 0.4%	-0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.30-108.80	1.1000-1.1200	118.03-121.90

【マーケット・インプレッション】

5月31日のドル円相場は大幅に下落した。東京時間朝にトランプ米大統領がメキシコからの輸入品に5%の関税を課すと表明したことを受け、リスクオフの展開。米長期金利低下・軟調な株式市場とともに、ドル円は一時安値108.28まで下落。ユーロドルについてはドル売り優勢の流れを受けNY時間にはじり高、1.11台後半をじり高で推移。本日の相場は上値の重い展開を予想。31日に大幅下落したドル円であるが、米中通商問題による先行き景況感の悪化から、戻りがあったとしても上値は限定的になるだろう。ユーロ円はリスクオフ局面が継続し、下値を探る展開を予想する。注目の経済指標は米5月ISM景況指数が本日発表予定。

東京	オセアニア時間、トランプ米大統領がメキシコからの輸入品に5%の関税を課すと表明したことを受けて109.60付近から109.30付近まで下落。その後、東京時間のドル円は109.34レベルで取引開始。景況悪化を懸念し、日本株が下落する中、ドル円は安値108.87円まで下落。東京時間終盤はやや持ち返し108.95レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.95レベルでオープン。米トランプ政権のメキシコや中国に対する強硬姿勢が嫌気され、円買いが先行。中国の米輸入品関税(600億ドル相当)の引き上げを翌日に控え、米10年債利回りも2.14%台まで低下。ドル円は108.79レベルでNYに渡った。ボンドドルは1.2607レベルでオープン。週末は有力候補がメディア出演し、論戦を繰り広げることから、ボンド買い持ちでは越えづらい雰囲気。メイ英首相の後任争いを見極める展開だが、代表格とみられるジョンソン元外相が合意なき離脱の方針を変えていないことが市場の警戒感を強めている。英政局流動化への思惑等から英長短金利差が縮小する中、月末絡みのボンド売りも相俟ってボンドドルは対ドルで5ヶ月振りの安値、1.2560まで下落。1.2564でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でリスク回避の円買いが強まり、米金利低下を受けたドル売りも加わり、ドル円は108.71まで下落し、108.79レベルでNYオープン。NY朝方は米4月個人所得・支出が予想を上回ったことから108.90まで反発。その後はミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回り、108.55まで下落。NY午後に入ると今年7月末の利下げ期待が50%を超え、米金利が一段と低下し、株式市場も軟調に推移する動きに、ドル円は108.40まで下落する。NY終盤に掛けては週末を控えて閑散な推移野中、じり安推移が続き、安値108.28でクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことからじり高で推移し、1.1144レベルでNYオープン。NY朝方はドル売りが継続したことから1.1179まで上昇するが、ロンドンフィックス絡みでユーロ売りが持ち込まれ、1.1137まで下落。NY午後にはドル売りが再び強まったことから、ユーロドルは下値を切り上げ、1.1178まで戻す。NY終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.1168レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することをお断じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・田家